

令和 7 年度 西部クリーンセンターの放射性物質濃度等の測定結果

◆ 敷地境界における空間放射線量（単位： μ S_v /時）^{マイクロシーベルト}

S_v （シーベルト）：人が受ける被ばく線量の単位（人が受ける放射線の量を表す）

μ （マイクロ）： 10^{-6} （100 万分の 1）

実施回	測定日	東側	西側	南側	北側	バック グラウンド
第 1 回目	令和 7 年 4 月 9 日	0.07	0.05	0.06	0.07	0.06
第 2 回目						
第 3 回目						
第 4 回目						
第 5 回目						
第 6 回目						
第 7 回目						
第 8 回目						
第 9 回目						
第 10 回目						
第 11 回目						
第 12 回目						

※ 1 か月に 1 回の頻度で測定を実施。

※ 地表面から約 1m の高さで測定を実施。

■ 焼却灰等の放射性物質ごとの濃度（単位：Bq^{ベクレル}／kg）

Bq（ベクレル）：放射能の量を表す単位（放射線が出ている量を表す）

実施回 ^{※1}	採取日	検体	放射性セシウム 134	放射性セシウム 137	放射性セシウム の合計
第1回目	令和7年5月予定	飛灰 ^{※2 ※3}			
第2回目	令和7年11月予定	飛灰 ^{※2 ※3}			
		焼却残渣 ^{※4}			
		炉砂 ^{※5}			

※1 埋立て先である地元の自治体等の要請に応じた頻度で測定を実施。

※2 飛灰とは、ろ過集じん器などで捕集した排ガスに含まれているダスト（ばいじん）をいう。

※3 重金属の溶出を防ぐための薬剤処理を行っていない状態の検体を採取。

※4 焼却残渣とは、燃やしたごみに含まれる未燃分（主に小石や金属類）をいう。

※5 炉砂とは、流動床式焼却炉においてごみを燃やすために用いる砂のことをいう。